

大学1年生(2022年度)の高校在籍時における 教科「情報」の履修状況及び ICT 利用状況に関する調査

松本 宗久

神戸親和女子大学教育学部

munehisa.matsumoto@gmail.com

本学の2022年度入学生に対し、高校在籍時の情報科の履修状況を調査した。その結果、3年間で受講したコマ数や、教科書を授業で使用したか、授業で受けた内容などが、生徒にはどのように認識されていたかについて知ることができた。ここに課題点とともに報告する。

1. はじめに

高等学校必修履修科目である情報科は、2023年度には開講されて20年を数える。しかし、未履修問題や、免許外教科担任が授業を行う割合が高い、などの問題点が他教科より数多くある。筆者は2020年に大阪のある私立大学1年生に対し、教科「情報」の履修状況を調査した。⁽¹⁾今回は、それに引き続き、現任校において同様の調査を行ったので報告する。

2. 先行調査の概要

普通教科情報(以下『情報』)の科目別履修状況は、「社会と情報」が80%、「情報の科学」が20%程度という状況にある。⁽²⁾筆者が以前在籍していた大阪の私立大学における調査においても、ほぼ同様の割合であった。また『情報』は、3年間で2コマを必修修する科目であるにも関わらず、1コマしか履修していないと回答する学生が500人中約4割もいるという調査結果であった。⁽¹⁾

3. 調査方法

以下の通り、アンケート調査を行った。

- ・調査時期 1年生の必修科目である「ICT基礎I」を担当する先生方に協力をいただき、2022年5月に授業時間内に提示。アンケートは任意とし、約2週間の余裕をとった。

- ・対象 神戸親和女子大学1年 有効回答数117名(内訳 教育学部100名・文学部17名)当然ながら女性のみである。

- ・方法 以前の調査で利用したアンケートを援用し、Microsoft Formsを利用したWebアンケートとした

4. アンケートの主要結果

4.1 通っていた高校の所在する府県

回答者の内、兵庫県が88名で約3/4を占める。この他では大阪府が7名、鳥取県が8名とやや多

いが、他府県は2名以下である。また公立学校が70名、私立学校が41名、普通科高校以外は6名であった。

4.2 履修した教科名(不明の場合は情報と記載)

表1 履修した教科名

項目	人数
社会と情報	75
情報の科学	8
情報	32
時間割に「情報」はなかった	2

情報の科学と回答した者が、先行調査の割合より少なめであった。今後「情報」と回答した内容をより細かく確認したい。

4.3 履修学年とコマ(=単位)数

あなたが受けた学年とコマ(=単位)数はどれですか

表2 履修学年とコマ数

項目	人数
1年 週2コマ	26
2年 週2コマ	7
3年 週2コマ	3
1・2年 週1コマずつ	11
2・3年 週1コマずつ	3
1・3年 週1コマずつ	7
1年 週1コマ	45
2年 週1コマ	4
3年 週1コマ	6
3年間で合計週3コマ以上	5

前回のアンケート調査でも課題となった設問である。本来必要である3年間に週2コマを履修したと感じていない学生が、半数近くにのぼっている。異なる大学での調査で、同様に高校時代にきちんと履修していないという認識の回答をする学

生が多く、今後のさらなる調査が必要と考える。

4.4 教科書を授業で使用したか

あなたは持っていた教科書を、授業で使用した記憶がありますか？ また副読本（授業ノートや問題集など製本・出版されているもの）は利用しましたか。

表3 授業での教科書使用状況

項目	人数
教科書のみを授業で使用した	66
教科書を授業で使用し、副読本も利用した	32
教科書も副読本も、授業で使用せず、教員の用意したプリントなどのみを利用した	17
教科書を授業で使用せず、副読本のみを利用した	2

教科書のみが半数以上、副読本も利用する場合は約3割と、合わせて8割以上の学生が、教科書を利用して学んでいる。前回調査と比較すると教科書を利用して授業を受けている割合は多いものの、教員の用意したプリントのみ、また副読本のみで学んだという学生もいることが分かる。

4.5 受講内容

あなたが情報の授業で受けた記憶があるものについてチェックしてください。（複数回答可）。

表4 授業で受けた記憶があるもの

項目	人数
タイピングの練習をした	87
ワープロで書類を作成した	50
表計算ソフトで、平均や合計などの計算をした	86
プレゼンテーションソフトで、スライドを作成した	79
プレゼンテーションソフトなどを使って、発表を行った	62
写真データなどの画像編集を行った	25
動画編集を行った	13
プログラミングを学んだ	24
合計	426

所謂 ICT リテラシーに近い部分について、どれくらい学んでいるかについて、過去のアンケート調査から項目を作成し確認した。ワープロの書類作成が半分以下と少ないのに対し、プレゼンテーションソフトなどを利用した発表が半分であるこ

とを考えると「総合」の授業などとの連携があるのかもしれない。画像編集やプログラミングがそれぞれ2割を超えており、各校で様々な工夫をしていることが見て取れる。

4.6 高校の授業で利用した ICT 環境

あなたが高校の授業で利用した ICT 環境はなんですか。

表5 利用した ICT 環境(複数回答)

項目	人数
Google Classroom	54
Microsoft Teams	22
Slack	0
その他	27
覚えていない	24

表6 授業動画視聴方法(複数回答)

項目	人数
同時配信型	25
オンデマンド型	17
同時配信型・オンデマンド型の両方	17
ビデオ配信による授業はなかった	58

表5で「その他」と回答した者は、ポータルサイトなどの利用であると考えられる。また表6では、コロナ禍の中、ビデオ配信による授業を半数以上の者が受講していたことが分かる。

5. おわりに

異なる大学に於いても、情報科における課題は同様のものがあると分かった。プログラミングが必修化され、全員情報 I を受講すること、大学入学共通テストに出題されることによって、これらの項目がどう変化していくか、今後も継続して調査していきたい。

参考文献

- (1) 松本 宗久, "大学1年生の高校在籍時代の情報科履修調査 - 教科書の表紙を思い出すという観点から -", 大和大学研究紀要第7巻(教育学部編 pp105-109 (2021))
- (2) 重田 桂子, 植原 啓介, 村井 純: "高校教科「情報」に関するアンケート調査と分析", pp31-38, 情報教育シンポジウム 2015 論文集,(2015-08-10)